

# お知らせ

INFORMATION

No.2015-09  
2015年1月  
病体生理研究所

## 新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので  
ご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

### 【新規受託開始について】

#### ◆ プレセプシン [16958]

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2015年2月2日（月）より

## 【新規項目情報】

項目名称	プレセプシン
コード	16958
検体材料	ヘパリン血漿 0.4mL
保 存	絶凍
採取容器	No.⑫→⑦
検査方法	CLEIA
基準値・単位	314 未満 pg/mL (敗血症診断のカットオフ値：500)
所要日数	3~5 日
実施料	320 点 (D007 57)
検査判断料	144 点 生化学的検査 (I)
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EDTA 血漿も検査可</li> <li>・ ボルテックスミキサー等による強い攪拌は測定値が上昇しますので使用しないで下さい。</li> </ul>

### ◆ プレセプシン

敗血症は細菌等の感染により引き起こされる全身性炎症反応症候群(SIRS)で、多臓器不全などを引き起こす致死性の疾患です。敗血症では早期の適正な治療が最も重要であり、迅速な診断のため、より精度の高いマーカーの開発が切望されています。

プレセプシンは、食細胞が細菌等を貪食する際に利用するCD14タンパクが消化酵素等による細胞内消化を受け分泌されるCD14のN末端部分からなる分子量約13kDaのタンパクです。

プレセプシンは、敗血症患者の血中で高値となり、敗血症の病態とよく相関することが報告されています。さらに、既存の敗血症マーカーでは高値となる熱傷や外傷などの敗血症と無関係な病態の影響を受けにくいことから、より精度の高い敗血症マーカーとして利用が期待されています。

以上